

#YOKKAICHI～イノベーション都市・四日市～（短縮版）

■目次

- 1:04 都市空間の創造 優れた立地とインフラの充実
- 1:56 環境改善とともに邁進する四日市の産業力
- 3:36 近代化から近未来へ

■ナレーション

さまざまな石油化学製品を生み出し、世界最大の半導体工場を持ち、国内はもちろん、世界における産業界をリードする都市・四日市。

「日永うちわ」、「四日市萬古焼」、今に受け継がれる伝統的技術。

さらに四季折々の自然、歴史や文化、魅力がいっぱい詰まったイノベーション都市、それが四日市です。

1:04 都市空間の創造 優れた立地とインフラの充実

四日市は日本のほぼ中心に位置します。

国際拠点港湾四日市港に加え、中部国際空港・セントレアから車で約1時間。

高速道路網も充実している四日市は、国内はもちろん、海外への人・モノのアクセスに優れています。

2027年、リニア開通により、東京、大阪への移動時間は大幅に短縮。

国際物流機能を持つ四日市市の都市空間は今後さらに創造され、東海エリアにおける中枢都市として飛躍的に向上し続けます。

1:56 環境改善とともに邁進する四日市の産業力

工場夜景の聖地、四日市。

国際貿易港として発展し、石油化学コンビナートを形成。

プラスチックや合成繊維などの原料といった汎用品の製造から、近年では、半導体、ディスプレイ、電池などの製品に欠かせない高付加価値製品が製造されています。

近年では、臨海部のコンビナートと内陸部の半導体企業などが連携し、高度部材供給拠点として、マザー機能化が進んでいます。

製造品出荷額は、およそ3兆583億円。

全国1724市町村中 第11位。

日本を代表する産業都市です。

しかし今日に至るまでにはさまざまな変遷がありました。

1960年ごろ、公害が発生し、多くの人が健康被害や生活被害を受けました。

これに対し、四日市は市民、企業、行政が一体となって環境改善に取り組み、産業の発展と環境保全の両立の実現を目指しています。

3:36 近代化から近未来へ

2019年には東京大学と三重大学のサテライトや産業支援機関が入居する産学官連携の拠点が開設。IoTやAIなど、新たな技術を取り入れイノベーションの推進を実現していきます。

魅力ある都市へ、利便性の高い交通インフラなど立地環境を生かし、環境共生型先端工業都市として、アジアの産業振興に貢献し、日本の産業界をリードするアジア随一の産業都市として発展し続けます。

イノベーション都市・四日市。